

## ■札幌ふるさとの樹木：その1

### バッコヤナギ (ヤマネコヤナギ)&エゾノバッコヤナギ(ヤナギ科)

バッコヤナギ(跋扈柳)は漢字で「婆っこ柳」と書く。「バッコ=お婆さん」のこと。花の後に生えてくる白い綿毛をお婆さんの白髪に見立てたといわれる。雌雄異株。樹高10~15m。樹皮は灰黒色で、若木のときはなめらかであるが老木では縦に裂けてざらざらになる。北海道西部に分布。類樹種のエゾノバッコヤナギは北海道東部~北部に分布する。バッコヤナギより、やや葉が長く、皮をはぐと隆起線が殆どない。葉は楕円形で先が尖がり鈍鋸歯縁か全縁、長さ8~14cm、幅3~4cmあり、表は鮮緑色で無毛、裏は粉白で綿毛が密生している。

葉柄は1~2cm。花期は3~5月、葉が開く前に咲く。雄花穂は太い楕円形で、雄しべ2個、雌花穂は長楕円形で、果実(さく果)が熟す頃には10cm以上となる。



樹皮は灰黒色で、若木のときはなめらかであるが老木では縦に裂けてざらざらになる。  
(澄川環境林・2013.08.17)



雌



葉



雄花



雌花